

赤外シミュレータ用のドーム案についてのコメント

国立天文台・岡山天体物理観測所
沖田 喜一

赤外シミュレータを岡山に移設する際、その入れ物となるドームを検討している。移設費用をできるだけ安価にするため、複数案を検討している。当初、太陽クーデドームを改造して移設する方向で検討をしてきた。このドームはフォーク式赤道儀望遠鏡が設置されており、ピアはドーム中心から偏心しているために、2階部分の梁構造も作り直す必要があり、改造費としてかなり高額になることが予想された。(図1、2)そこで、新築でできるだけ安価なドーム建築を目指して、検討している。(図3、4)その結果、当初投資としては、それなりに安価に建設可能な案ができてきた。このドームを建設する場所については、いくつかの候補地があるが、岡山の将来計画を十分考慮して決定したいと思っている。



